



あうんの呼吸

あうんの呼吸とは、気持ちが一致していること、心の通じ合った関係という意味から、お客様とスタッフで心をつなげて、ご満足いただける住みよい家作りをしていくという気持ちを込めました。

<今月のトピック>

☆リフォーム施行例

☆4コマ漫画

☆暑さ対策リフォーム

VOL. 20 平成26年8月号

あうん工房

902-0066

沖縄県那覇市大道90-4

通話料無料の
フリーダイヤル

0120-72-4152

リフォーム施工例

AFTER

BEFORE



風が通りぬけ・広さを感じる
1ルームに変更して明るくて、落ち着いた雰囲気の部屋へ改装



キッチンを明るい色のピンクベージュのI型キッチンへ
キッチン廻りはお手入れが楽なキッチンパネル



マンションの改装工事

キッチン・ユニットバス・洗面化粧台の取替工事
(器具はタカラスタンダード)

床・壁・天井の張替をして

2LDK(56㎡)を1ルームに改装しました。

お客様も大変喜んで頂きました。



BEFORE



AFTER



ユニットバスも、一面だけ色を変えて高級感たっぷりのきれいなユニットバス

BEFORE



AFTER



三面鏡の鏡に、シャワー・水栓・引出し式の棚に高さが180cmのコンパクトタイプ

まさかのマタニティーパンツ



夏本番☆暑さ対策！夏を涼しくするリフォーム＜暑さ対策リフォーム＞

強い日差しをカットして家を涼しくする

暑さの感覚は気温、照り返し熱、風速、湿度などの組み合わせで決まります。

まずは気温、照り返し熱を跳ね上げている夏の日差しを遮るリフォームの工夫をしましょう。

強い日差しは室温を上昇させるだけでなく、暑くなった窓まわりや床、壁などの照り返し熱で室温は更に暑くなります。涼しくするには部屋に日射しを入れないこと、そして窓周辺に蓄熱させない工夫が必要です。日射しをカットする方法で一番手軽にできるのは、ホームセンターなどで購入できる遮光ネットやすだれを使用する事です。他には、窓サッシの性能を上げるリフォームが効果的です。

ガラスをエコガラスに交換リフォームすれば遮熱機能があるので夏は涼しく、冬暖かくなります。リフォーム用エコガラスなら、工事は1箇所30分～1時間で終わります。

窓の外側は、後付けできるタイプの遮光パネル、スクリーン、オーニングを取り付けるなどの対策方法もあります。日よけは室内側より室外側に取り付ける方が効果は高く、部屋を涼しくしてくれます。

風通しをよくすれば、同じ室温でも涼しくなる

同じ室温でも、風通しがあれば体感温度が下がり涼しく感じます。

そこで、風通しをよくするリフォームをして、夏を涼しく過ごしましょう。

部屋に大きな窓が1箇所あっても、出口がなければ風通しは良くなりません。

風通しをよくするには、入口と出口と2箇所の窓が必要です。そして大切なのは風の道筋です。

風の入口と出口はできるだけ対面させ、直線か、なだらかな曲線で結ぶようにしましょう。

又、暖かい空気は上に昇るので、ランマや天窓を開けて空気が上に抜けるようにすると、家の中に風が通りやすくなります。



小さな窓サッシでも開き方で風通しはよくなる

サッシは開き方によって風が通る面積が違います。例えば引違い窓が開くのは左右のどちらか片側だけですから、通風面積は窓の面積の半分です。

小さな窓しか取付けられない場合でも、たてすべり窓、ルーバー窓など全面が開くタイプにすれば、窓は小さくても通風面積を大きく取ることができます。

他にも右の写真のような、閉めたまま風が通る通風勝手口、夜に雨戸を閉めてもサッシを開けておけば風が通る通風ルーバー雨戸や通風シャッターもあります。

ただし、「ルーバー調」と呼ばれるタイプは、塞がっていて風が通らないので注意してください。

まずは、風の出口と入口を作る、そして効率的な開き方をするサッシを取り付けるなどして、風通しよく、夏に涼しい家にしましょう。



2階はなぜ暑い？屋根裏に抱えた熱気球

夏になるととにかく2階が暑い！という声をよく聞きます。この暑さの原因は日射しのせいだけでなく、屋根裏にあるケースが多いのです。屋根に当たった夏の日差しは、屋根裏の温度を急上昇させ、50度以上になることもあります。換気しなければ、頭の上に熱気球を抱えているようなもの。

いくらエアコンで室内を冷やしてもきりがありません。

屋根裏の断熱材を入れなおし、小屋裏換気をするリフォームをしたら、2階が涼しくなったというケースは多いので、まずは天井裏の温度や断熱材の様子を確認しましょう。

小屋裏換気は換気棟という屋根の頂上から空気を抜く部材を取り付けたり、小屋裏換気扇を取り付ける方法などがあります。もちろん空気の入口と出口を作ることが大切ですから、軒下や壁面に吸気口を設けるのを忘れないようにしましょう。

断熱リフォーム～天井裏と床下に入って吹き付けるだけの簡単工事～

断熱リフォームは一見地味ですが、快適な家にするだけでなく、省エネ効果が高いリフォームです。

リフォームで断熱工事というと大掛りなイメージがありますが、床下と天井裏に潜って吹き付けるだけで断熱性と気密性を上げる手軽な断熱リフォームもあります。

右の写真は、吹き付けるだけで、あっという間にモコモコと100倍に膨らむ、断熱材です。

スキマを埋めるように膨らむので、住まいの気密性も上がり、耐湿性が高いので結露やカビの心配が少ないのが特徴です。水で発砲する99%空気の断熱材で、ホルムアルデヒドなどの有害物質を出さず、安全性が高いのもうれしいところです。天井と床に断熱リフォームをすれば、夏の天井からの輻射熱、冬の床下からの冷気を防ぎ、夏に涼しく冬に暖かい省エネで快適な住まいになります。また断熱性を上げれば、部屋の温度差が少なくなるので、家庭内事故で多いヒートショック現象も防ぎやすくなります。



エアコンの効きをよくするポイント

エアコンが効かない！と思ったら、フィルターや室外機のチェックをしましょう。

エアコンの効きをよくするポイントをご紹介します。

エアコンのフィルターはこまめに掃除をしないと効率ダウンします。

また、見落としがちなのが室外機。室外機の周辺に空気の流れを遮るようなモノを置いたり、直射日光が当たる場所に室外機が置いてあると、エアコンの効が悪くなります。室外機に日よけを取り付けるだけでも効果があります。DIYで4隅に柱を立て、波板で屋根を取付け銀色に塗装しただけでエアコンの効がよくなった例もありますので、チャレンジしてみてください。ただし台風で飛ばされないようシッカリ固定しておきましょう。

家電の省エネは進んでいます。10年前のエアコンと比べてみると、電気代が半分近くのものもあり、また冷却効果も上がっています。今、お使いのエアコンが10年以上前のものなら、買い換えた方が快適で、お得かもしれませんね。

これから、夏本番。暑さがより厳しくなってくるかと思いますが、ちょっとした工夫で、涼しくなる方法がたくさんありますので、簡単にお手軽にできる所から挑戦してみて、ぜひ、快適な夏をお過ごしくださいね♪



素敵な夏をお過ごしください♪

